

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 9 月 1 日 (2016.9.1)

【公開番号】特開 2015-19332 (P2015-19332A)

【公開日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【年通号数】公開・登録公報 2015-006

【出願番号】特願 2013-146869 (P2013-146869)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 A

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 7 月 11 日 (2016.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像手段と、

前記撮像手段により生成された画像データを記憶する記憶手段と、

前記撮像手段により 1 枚の画像を撮影する通常の撮影モードと、前記記憶手段において前記通常の撮影モードよりも多くの記憶領域を用いる撮影モードとを少なくとも含む複数の撮影モードを制御する制御手段と、

前記記憶手段の記憶領域を用いてデータの通信を行う外部装置と接続する通信手段とを有し、

前記制御手段により前記通常の撮影モードよりも多くの記憶領域を用いる撮影モードに制御されている場合に、前記通信手段は前記外部装置と接続しないようにすることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記記憶手段は、前記通常の撮影モードよりも多くの記憶領域を用いる撮影モードの撮影で用いられる記憶領域と、前記外部装置とデータの通信を行うために用いられている記憶領域とが重複していることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記制御手段により前記通常の撮影モードよりも多くの記憶領域を用いる撮影モードに制御されている場合に、前記通信手段により前記外部装置と接続できない旨を表示部に表示する表示制御手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記通常の撮影モードよりも多くの記憶領域を用いる撮影モードは、前記撮像手段により複数の画像データを生成して合成する撮影モードであることを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記制御手段により前記通常の撮影モードに制御されている場合に、前記通信手段は前記外部装置と接続可能とすることを特徴とする請求項 1 ～ 4 の何れか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記通信手段は、前記外部装置として前記記憶手段の記憶領域を用いて生成された印刷データの送信先である印刷装置と接続することを特徴とする請求項１～５の何れか１項に記載の撮像装置。

【請求項７】

撮像手段と、前記撮像手段により生成された画像データを記憶する記憶手段とを有する撮像装置の制御方法であって、

前記撮像手段により１枚の画像を撮影する通常の撮影モードと、前記記憶手段において前記通常の撮影モードよりも多くの記憶領域を用いる撮影モードとを少なくとも含む複数の撮影モードを制御する制御工程と、

前記記憶手段の記憶領域を用いてデータの通信を行う外部装置と接続する通信工程とを有し、

前記制御工程において前記通常の撮影モードよりも多くの記憶領域を用いる撮影モードに制御されている場合に、前記通信工程においては前記外部装置と接続しないようにすることを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項８】

外部装置と通信する通信インターフェースを備える撮像装置であって、

前記通信インターフェースを介して第１の外部装置又は第２の外部装置と通信する通信手段と、

第１の撮影モードと、前記第１の撮影モードよりもデータ処理に多くの容量を用いる第２の撮影モードとから、実行する撮影モードを選択する制御手段とを有し、

前記通信手段は、前記実行する撮影モードとして前記第１の撮影モードが前記制御手段によって選択されている場合に、前記第１の外部装置と前記第２の外部装置とのいずれとも通信可能とし、

前記実行する撮影モードとして前記第２の撮影モードが前記制御手段によって選択されている場合に、前記第１の外部装置とは通信できるが、前記第２の外部機器とは通信できないようにすることを特徴とする撮像装置。

【請求項９】

前記通信手段が通信する外部装置を選択するための画面を表示部に表示する表示制御手段をさらに有し、

前記実行する撮影モードとして前記第２の撮影モードが前記制御手段によって選択されている場合に、前記表示制御手段は、前記第１の外部装置を選択できるが、前記第２の外部機器を選択できないような画面を前記表示部に表示することを特徴とする請求項８に記載の撮像装置。

【請求項１０】

前記第１の撮影モードは、１回の撮影操作で１枚の画像データを生成する撮影モードであることを特徴とする請求項８又は９に記載の撮像装置。

【請求項１１】

前記第２の撮影モードは、撮影により得られた複数枚の画像データを画像処理する撮影モードであることを特徴とする請求項８～１０の何れか１項に記載の撮像装置。

【請求項１２】

前記第２の撮影モードは、手持ち夜景モード、ＨＤＲ逆光補正モード、マルチショットノイズ低減モード、多重露出モード、横長又は縦長の画像を生成するパノラマ合成モードのうちの少なくとも１つであることを特徴とする請求項１１に記載の撮像装置。

【請求項１３】

前記第１の外部装置は、スマートフォンであることを特徴とする請求項８～１２の何れか１項に記載の撮像装置。

【請求項１４】

前記第２の外部装置は、印刷装置であることを特徴とする請求項８～１３の何れか１項に記載の撮像装置。

【請求項１５】

外部装置と通信する通信インターフェースを備える撮像装置の制御方法であって、前記通信インターフェースを介して第１の外部装置又は第２の外部装置と通信する通信工程と、

第１の撮影モードと、前記第１の撮影モードよりもデータ処理に多くの容量を用いる第２の撮影モードとから、実行する撮影モードを選択する制御工程とを有し、

前記通信工程においては、前記実行する撮影モードとして前記第１の撮影モードが前記制御工程において選択されている場合に、前記第１の外部装置と前記第２の外部装置とのいずれとも通信可能とし、

前記実行する撮影モードとして前記第２の撮影モードが前記制御工程において選択されている場合に、前記第１の外部装置とは通信できるが、前記第２の外部機器とは通信できないようにすることを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項１６】

前記通信工程において通信する外部装置を選択するための画面を表示部に表示する表示制御工程をさらに有し、

前記実行する撮影モードとして前記第２の撮影モードが前記制御工程において選択されている場合に、前記表示制御工程においては、前記第１の外部装置を選択できるが、前記第２の外部機器を選択できないような画面を前記表示部に表示することを特徴とする請求項１５に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項１７】

前記第１の撮影モードは、１回の撮影操作で１枚の画像データを生成する撮影モードであり、

前記第２の撮影モードは、撮影により得られた複数枚の画像データを画像処理する撮影モードであることを特徴とする請求項１５又は１６に記載の撮像装置の制御方法。

【請求項１８】

前記第２の撮影モードは、手持ち夜景モード、ＨＤＲ逆光補正モード、マルチショットノイズ低減モード、多重露出モード、横長又は縦長の画像を生成するパノラマ合成モードのうちの少なくとも１つであることを特徴とする請求項１７に記載の撮像装置の制御方法。

。

【請求項１９】

コンピュータに読み込まれ実行されることで、撮像装置に請求項７、１５、１６、１７又は１８に記載の撮像装置の制御方法を実行させるプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明に係る撮像装置は、撮像手段と、前記撮像手段により生成された画像データを記憶する記憶手段と、前記撮像手段により１枚の画像を撮影する通常の撮影モードと、前記記憶手段において前記通常の撮影モードよりも多くの記憶領域を用いる撮影モードとを少なくとも含む複数の撮影モードを制御する制御手段と、前記記憶手段の記憶領域を用いてデータの通信を行う外部装置と接続する通信手段とを有し、前記制御手段により前記通常の撮影モードよりも多くの記憶領域を用いる撮影モードに制御されている場合に、前記通信手段は前記外部装置と接続しないようにすることを特徴とする。